

11月に入りました。ホタテ漁も大詰めです

シカや熊の活動が活発です。要注意! です。

なな なか まど

令和5年11月1日(水)
第65号
一般社団法人
猿 払
ななかまどの会
会 報



パン作り体験教室

十月十六日に六十五歳以上を対象にした「パン作り体験教室」が、教育委員会主催で四年ぶりに楽遊館で開催されました。参加者は募集人数の半数でしたが、四種類のパンを手際よく上手に作る事が出来ました。

しかし、相変わらずコロナ罹患者は出ていますので感染防止に十分注意を払って実施したいものです。
十月は十六日に「パン作り体験教室」二十六日に地域活動支援センター「みらい」の例会が、二十九日には子ども支援センターの「キムチづくり」が楽遊館で開催されました。楽遊館の利用も少しづつですが増えてきました。十一月からは小



新型コロナウイルス感染症がインフルエンザと同じ五類に分類され、「with コロナ」で日常生活を平常に戻していかねければなりません。マスクをはずす人が随分増えてきました。様々な行事もコロナ流行前に戻ってきませんでした。



「みらい」の例会の様子とパン

学生以上の利用料が三百円になりませんが、友達やサークルの仲間とは是非「パン作り」に挑戦しましょう。
連絡をいただければ、パンの種類や材料等々お教えします。作り方もお手伝いします。(楽遊館417111)

九歳頃に発達の節があります。

小学校の先生も子育て中の保護者の皆さんも要注意です。

小学校三・四年生頃にそれまで全然学力に問題のなかった子が、突然学力低下をすることはよくあります。

これは、九歳の頃に「発達」の性質が大きく変わるからです。

低学年の頃は「具体的な操作」で思考していました。足し算や引き算では、物の増えた減ったを具体的に操作してそれを数字や式に置き換えていました。ところが高学年の入口が近づいてくると、具体的にない目に見えないものの計算が入ってきます。「抽象思考」といわれます。文章に抽象的な言葉がたくさん登場し、その思考に慣れていないと

問題文や解説文が外国語のように聞こえ、何を言っているかさっぱりになります。その節を、太く遅く越えさせるためには、リアルな具体的な体験を出来るだけさせることです。いつから？三歳の節を越えた辺りからです。

小学校の算数は二年生のかけ算が全てです。

例えば、二年生で習うかけ算は、九九を覚えればいいと思っっている保護者や先生が多いのですが、実は大切なのは

一辺り量×いくつ分＝全体量
という考え方をしっかりと身に付けさせることです。

一年生から足し算引き算を具体物で何度も何度も体験させ、数字や式に置き換えてたり、かけ算では「一皿にケーキが2個、四皿ではケーキはいくつ」というような具体物から半具体物へ、そして数字（抽象物）へとという経験の量を保障しなければならぬのです。

道の駅売店「ななかまど」今シーズン終了

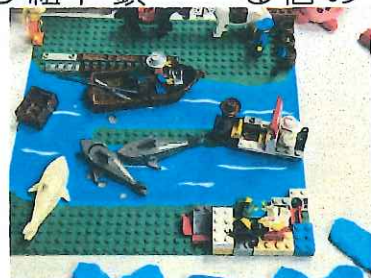
四年ぶりに道の駅さるふつ公園で営業した売店「ななかまど」ですが、十月二十九日をもって今シーズンを終えました。五十二日のベ三〇〇〇人超のお客様を迎えることが出来ました。来年春まで英気を養います。本当にご利用有り難うございました。パンは注文や行商、イベントで販売します。春までそちらをご利用下さい。



猿払の手工芸作家の作品

集中力が凄い 塾の様子

一年生のHさん。宿題が終わると「レゴ」に集中。彼女は頭の中でストーリーを組立、集中して想像の世界を作り上げていました。集中力が半端ないです。



●道の駅さるふつ公園の「チビッコ公園」。今年度の工事は終了し、来年度の東屋設置を残すのみとなりました。寒いですが遊べますよ。



戦争やめろ

ロシアもハマスもイスラエルも